種別タイトル

論文種別

和文タイトル

―副タイトル―

和文著者名，大　阪　千　里\*，東　京　太　郎\*\*

\*所属（〒　　住所）

\*\*所属（〒　　住所）

**English Title**

 **―Subtitle―**

欧文著者名，OSAKA Chisato and TOKYO Taro

(Received 受理月日) 学会にて入力

**Key words**: 5～10 word

1.　は じ め に

レーザ加工学会誌の原稿作成にあたっては，本執筆ガイドを熟読の上ご執筆下さい．本執筆ガイドも以下に定める様式に沿って書かれていますので，参考にして下さい．

2.　原稿の書き方

1. 原稿全般

用紙はA4(白地)縦向きとし，余白を上下22 mm，左右19 mmずつとって，その中に原稿を納める(版面175 mm×253 mm)．

フォントサイズは9ポイント，1ページは26字×51行×2段とする．

題目，著者名，勤務先，所属，住所，原稿受付日(学会で記入)，キーワードのフォントサイズと行間も本文と同じとする．これらの項目は，掲載決定後に学会で所定の書式に整える．

副題目がある場合は，前後を―(ダッシュ)ではさむ．

章に相当する見出し(大見出し)は2行とし，中央に書く．章番号を含めて26字を超えるものは3行とする．

節，項に相当する見出し(中見出し，小見出し)は左詰めで，全角スペースの後に書く．上下の行を空けない．

行頭・行末禁則文字を設定する．上下付き文字は行頭禁則とする．

欧字，数字は半角文字を使用する．欧字，数字のフォントは論文全体を通じて統一する．

量記号はイタリック体(斜体)，単位記号，演算記号はローマン体(立体)とする．

句読点は，｢。｣｢、｣ではなく，｢．｣｢，｣(ピリオド，コンマ)を用い，全角とする．

**Table 1** Example of tables.

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 0.1 nm | 1 μm | 10 μm | 100 μm |
|  | 6×108 | 6.3 | 1.002 | 1.0000002 |
|  | 6×104 | 3.0 | 0.5002 | 0.5000002 |

図表は，本文記述の近くの上方(原則として)にまとめて割り付ける．図表を1ページ目に配すときは，このページの**Table 1**の例のように，ページの下方に割り付ける．

図表と本文の間，図表の題目と本文の間は，最低1行空ける(推奨1.5行)．

原稿の最後に著者紹介を記載する．著者紹介では，できるだけ写真（1年以内に撮影のものが望ましい）を添え，生年月日，学歴，学位，職歴，現在の専門や研究内容，受賞歴，所属学協会などを記載する．E-mailアドレスも記入する．TELおよびFAXもできるだけ記載する.

最終ページに余白が出る場合は，本文を2段均等に分け，下段2段を通して余白にする．

1. 本文の書き方

本文は，17行目から書き始める(用紙上端から約92 mm下から始める)．

フォントは9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)とする．ただし，大見出し，中見出しはＭＳゴシック(英数字はTimes New Romanの**Bold**体)とする．大見出し，中見出しは9ポイントとする．大見出しが4文字以下のときは，全体で5文字になるように均等割り付けする．

本文の大見出し(章番号)，中見出し(節番号)，小見出し(項番号)はPoint Systemとし，**1.**, **2.**, **3.**, ･･･, **1.1**, **1.2**, **1.3**, …, 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, ･･･，とする．より小さい見出し(目番号) は，(1), (2), (3),･･･とする．小見出し以降は9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)とする．

文中に使用する術語，用語などは各専門学協会編の辞典，便覧による．

脚注が必要なときは，関係する本文中の語に\*1, \*2,…を付し，同じページの下にケイ線( )で区別して書く．

**Fig. 1**　Example of figures.

1. 記号・単位

2.3.1　記号

記号に続く単位には [ ] をつけ，数値に続く単位には [ ]

をつけない．たとえば，　*ℎ* [W/m2 K], 17.4 W/m2 K．

2.3.2　単位

単位は原則としてSI単位を用いる．単位の接頭語｢μ｣はsymbol(立体)とする．数値と単位の間は半角スペースを入れる．

1. 数式

数式は，できるだけ数式エディタを用いる．フォントサイズは，本文と同じ9ポイントとする．数式エディタを使用しない場合は，大文字，小文字，上ツキ，下ツキなどがはっきりわかるようにする．

式中での括弧の順序は原則として { [ ( ) ] } とする．

式が途中で切れるときは，次行のはじめに×,＋,－をつける．

式番号は各式の右端に通し番号をつける．

本文中では｢式(1)｣のように書く．

1. 表

表題，説明文などは英語が望ましい．フォントは8ポイント，英数字はTimes New Roman，ギリシャ文字はSymbolとする．

表番号は**Table 1** (Times New Romanボールド体)のように表し，本文中でもこれを使用する．

8ポイント組み，行間12ポイント．主な罫線は細線(ヘアライン)，左右の罫線は入れない．

1. 図および写真

2.6.1　図

1. 図の題目･説明文

図の題目，説明文などは英語が望ましい．フォントは8ポイント，英数字はTimes New Roman，ギリシャ文字はSymbolとする．

1. 図番号

図番号は**Fig. 2**(a)(Times New Romanボールド体(括弧内

1. Example of figures example example example example example. (a)○○○○，(b)△△△△.

(b)

(a)

はTimes New Roman))のように表し，本文中でもこれを使用する．

1. 図中の文字

図中文字は仕上がり8ポイント(天地約2 mm)を標準と

し，すべて同じ大きさに統一するようにする．フォントはゴシック系（Arial，Helvetica）を推奨する．

2.6.2　写真

写真は図として取り扱う．したがって番号も図と同じ通

し番号を使用する．

写真は鮮明なものを使用する．コピーはできるだけ避け，コピーのコピーは掲載できない．

2.6.3　注意

図表(含写真)は，原則として著者のオリジナルを使用する．やむを得ず他の文献等から転載する場合は，著者自ら版元や原著者に許可をとり，出典を明らかにした上で掲載する．

**3.**記 号 説 明

文中で用いた記号の説明を別につけるときは，以下に例示するように，ローマ字，ギリシャ文字，Subscript, Superscript の順で，それぞれアルファベット順に配列する．同一文字は，大文字，小文字の順，添字つきの記号は，添字のアルファベット順，数字の順とする．

記号と説明文を：(コロン)でつなぎ，単位は右端に [ ] 内に記す．特に無次元の変数，量を示す記号の単位は [－] として示す．

λ ：波長 [nm]

𝒸 ：媒質中の光速 [m/s]

n ：屈折率 [－]

**4.**　結　　　論

結論を箇条書きで書く場合は，以下のように書く．

1. 1字インデントして (1) のように番号(連番)を振 り，1字空けて本文を書く．

謝　　　辞

謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文謝辞文．

参 考 文 献

参考文献は本文中のその項目に1)のように上付き通し番号をつけ，最後にまとめて書く．

例：参考文献1-3），参考文献1,5,8）．括弧は左端のみ．

参考文献の略し方は原則として科学技術文献速報に従う．

参考文献は，文献番号を縦にそろえ，文献自体も行頭をそろえる．

フォントサイズは8ポイント，行間最小値11ポイントとする．参考文献が英文の場合，著者名は姓，名(頭文字)を記載する(姓と名の間に｢, ｣を入れる)．和文の場合の著者名は姓名を記載する．

文献の引用は，雑誌の場合，

文献番号)　著者名: 論文の表題，雑誌名，巻数(ボールド体)-号数，(発行年・西暦)，通巻ページ．

の順に書く．単行本の場合は，

文献番号)　著[編]者名: 書名，出版社，発行地(欧文のみ)，(発行年・西暦)，引用ページ．

の順に示す．

著者が複数の場合は省略せず全著者名を記す．また論文の表題は必ず明記する．参考文献は入手可能なものに限り，投稿中の論文は引用しない．

1. Gutierrez, G. and Jen, T.-C.:Numerical Simulation of Non-Linear Heat Conduction Subjected to a Laser Source, Int. J. Heat Mass Transfer, **43**-12, (2000), 2177.
2. Osaka, C.:Advances in High-Power CW YAG Lasers and Fiber Optics Beam Delivery, Proc. of ICALEO’92, (1992), 63.
3. Hoffman, J.D.:Numerical Methods for Engineers and Scientists, McGraw-Hill, New York, (1992).
4. 大阪千里:レーザ加工の現状と将来展望，レーザ加工学会誌，**6**-3, (1999), 248.

著　者　紹　介

大阪千里

写　真

(横2 cm×縦2.4 cm)

OSAKA Chisato

生年月日．学歴，学位，職歴，現在の専門や研究内容，受賞歴，所属学協会など．

E-mail: osaka@jlps.or.jp

TEL & FAX: (06) 7890-1234

東京太郎

写　真

(横2 cm×縦2.4 cm)

TOKYO Taro

生年月日．学歴，学位，職歴，現在の専門や研究内容，受賞歴，所属学協会など．

E-mail: tokyo@jlps.or.jp

TEL & FAX: (06) 7890-4321

(執筆ガイド2016年5月20日版)